

一般質問

(4〜7ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は22人35件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

JR南武線第一是政架道橋 階段等を改良する考えは

バリアフリーの視点からも 検討する必要がある

林 辰男議員 府中街道からサントリー正門前の御茶屋街道に通じるJR南武線の第一



▲第一是政架道橋

他 超大型地震―小河内ダムが決壊したら―

是政架道橋を施工したのは、昭和48年頃と聞く。当時、健常者を中心に設計されたこの歩行者用の階段やスロープは、勾配が急で、自転車を押して、やっとなれる状態である。高齢者にとっては、大変危険であり、身体障害者は、上り下りができない。

そこで、この階段等の勾配を緩やかにする考えはあるか。市長 本市では、誰もが安全で安心して利用できるバリアフリーのまちづくりを進めているところであり、同架道橋の勾配は、その視点からも検討する必要があると考えている。

第一中学校の二期制の実施 今後、の考えは

保護者等の声も真摯に受け止め 教育計画を策定している

小野寺 淳議員 平成16年4月から府中第一中学校で実施された二期制について、前期終了時でのアンケート結果によると、生徒や保護者の間では、良いと評価する人が、全体的に低かったと聞く。

生徒も保護者も余り理解できない。きないうちに実施されたものと受け止めざるを得ない。そこで、この二期制について、今後の市の考えを聞きたい。

教育長 長年実施してきた三学期制に替え、二期制で学校生活や学習活動を行うことは、生徒等にとって、とまど

交通バリアフリー基本構想 進ちよく状況は

事業者調整会で協議し 事業計画の素案ができた

村木 茂議員 高齢者、身体障害者が、公共交通機関を利用する際の移動の円滑化を図るため、平成12年に交通バリアフリー法が施行された。

これに伴い、市では交通バ

リアフリー基本構想を策定協議会で検討し、16年1月に基本構想策定書が完成した。そこで、同基本構想に基づくバリアフリーの進ちよく状況を聞きたい。

都市建設部長 本市をはじめ国道・都道の道路管理者や府中警察署、鉄道会社等で構成する事業者調整会を発足させ、協議を進めている。

市民が主役の考え方を 基本にすべく努めている

村井 浩議員 超大型台風が接近との報道で、市民保養所「やちほ」の予約者が取消申請をしたところ、市は前払金を戻さない形でのキャンセル料を取った。これは、同保養所に出掛けても安全だと、市が保障していることなのか。もし被災したら責任をとってく

いがあつたことも事実である。このため、同校では、アンケートの結果を分析し、これをもとにして後期の学習に入った。

次年度の教育計画については、生徒や保護者の声も真摯に受け止めながら策定している。

れるのかとの市民の声がある。行政は、最大のサービス産業であり、市民の安全を第一に考える点で、細かいところにも気を配るべきである。市政の主役は市民とする野口市政の思いやりは、どこに生かされているか。

生活文化部長 同保養所の利用者のもとより、市民への対応は、市民が主役の考え方を基本とすべく努めている。使用料やその還付は、条例を基本として統一的で公平な取扱いを心掛けているが、議員の指摘内容は、十分検討し、その結果を運営に反映していきたい。

消費者相談の対応は十分か

美しい風格のあるまち 府中の魅力を発信する考えは

市民と協働し、魅力を磨き 市の内外に発信していきたい

宮本 武蔵議員 本市は、武蔵国の国府が置かれ、早くから政治、経済、文化の中心地として栄えてきた。鎌倉・江戸・明治時代と歴史を歩んできたまちには、くらやみ祭を始めた様々な場面、他のまちにはない雰囲気がある。

加えて、

しており、府中らしさを醸し出している。そこで、美しい風格のあるまちとして、府中の魅力を広く発信する考えは。

市長 けやき並木など、本市の自然環境の美しさは、際立つており、風格の面でも大國魂神社、旧甲州街道のたたずまいなど、国府が置かれた長い歴史と伝統に培われた都市として、近隣市に決してひけをとるものではない。



▲美しい自然環境(けやき並木)

農業振興計画の改訂案 農地減少防止策は

生産緑地の追加指定や 税制等の改正を要望

高野 政男議員 市は、市民とともに農業のあるまちづく

りを進め、50年先にも農地・農業を残すことを目的に農業振興計画を改訂すると聞く。

農地や農業は、生きた教育と考える。土づくりは大切に守り続けた汗の結晶で

また、市民に計画案への意見を募ったが、同防止策はどのようなものがあつたか。生活文化部長 報告書案では、生産緑地の追加指定、税制度や都市計画及び農地制度等の改正を関係機関に要望、農地周辺の環境保全、耕作が十分できない農地の有効活用等の案が含まれている。意見の中には、農地の確保のために、公募債を発行するという案もあつた。



▲「親子ふれあい農園」から